

授業科目 生物学の世界

【担当教員名】 濱口 順子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	

【概要・一般目標：G10】
 生物のからだは「細胞」を単位としてできあがっている事、たった1つの受精卵から生命が始まること、など学習を通じて知ることと、私たちの日常の活動を結びつけて考えられるようになることを目標に学ぶ。食事を摂り・息をして・心臓が動き続けていることは私たちの生命を維持するために必須であるが、その生き物としての活動と「細胞の生命」との関係を理解できるように、生物全体に共通する原理を学ぶ。そして「一生物種としてのヒト」の生命活動を理解して「いのち」について考える観点を養う。

【学習目標・行動目標：SBO】
 生命現象は細胞を単位に進行することを理解する。さらに細胞は物質から形成され、細胞膜で区切られた空間を保持することで生命が維持されていることを理解する。また、細胞が分裂することで個体の発生や形態形成・個体の維持、生殖や世代交代・遺伝などの生物学的現象が実現していることを認知し、生物の活動は全て「細胞の活動」の集積であることを理解できるようになる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全生物に共通する特質と生物の多様性		
2	細胞から生物分類を考える		
3	細胞を構成する物質		
4	細胞という空間を考える		
5	生命は細胞膜で包まれた細胞内にある		
6	遺伝子はどのように働いているか		
7	DNAと遺伝子		ワークシート No. 1 配布予定
8	なぜ子供は親に似るのか		
9	細胞分裂：2タイプの細胞分裂を理解する		
10	生殖と細胞分裂との関係		ワークシート No. 2 配布予定
11	動物のからだづくり（発生）と細胞分裂との関係		
12	動物の組織・器官・器官系：各器官系の働きあい		
13	エネルギー代謝と摂食・呼吸		
14	エネルギー代謝と個体の生命維持		
15	まとめ 期末試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「ダイナミックワイド図説生物」	石川統ら監修	東京書籍	2013・880円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業中のワークシートの提出と期末試験の得点により総合的に評価します。ワークシートを30%、期末試験70%の割合で採点します。	【履修上の留意点】 ・配布プリントを中心に「ダイナミックワイド図説生物」の写真や図などを参照しながら授業を進行します。 ・授業では必ずノートをとること、毎回のプリントとノートをファイルしたものと「ダイナミック図説生物」を持参すること、の2点を守って下さい。 ・各授業時間のはじめに（ノートに基づいて）前回の授業内容についての質問をします。 ・受講予定者は必ず授業開始日から出席して下さい（1回目から配布プリントがあります）。
--	--